

いまみ 緑のたより

みんなが かがやく イマミっ子 ~明るく かしこく たくましく~

<ホームページ> <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/imajukuminami> 令和5年11月29日

日常のゆとり

校長 佐々木 一高

風に葉を委ねる木々の冬支度がはじまる時季となりました。寒暖差の大きな毎日が続く一方で、春のような暖かい「小春日和」を感じられる日の休み時間には、子どもたちが運動場で元気に走り回っています。半袖になって汗をかき、息を切らしながら遊ぶ子どもの姿を見ているだけで、なんだか私の心はポカポカしてきます。体育倉庫上のギャラリーから運動場全体を見渡している私に、「私たちと一緒に鬼ごっこしようよ」と声かけてくれたり、下から見上げて「校長先生！」と手を振りながら呼んでくれたりと、心を開放している子どもたちの姿に元気をもらっています。

11月、全校遠足は天候に恵まれず、延期そして中止の判断をしました。ズーラシアへの遠足を楽しみにする子どもの声を聞いていただけに苦しい決断でした。給食までに帰校できる距離であれば……と、下見や計画を立ててきた職員も子どもたちと同じ気持ちでした。しかし、代替で計画していた校内での縦割り活動の様子を見てみると、まとめ役の6年生が大活躍し、グループの仲間の距離感を縮めながら過ごす子どもたちからは、穏やかな安心した表情がうかがえました。丸一日、教科学習を行わず、のんびりゆったりとした時間を過ごす「日常のゆとり」もなかなか良いものだなと感じました。目まぐるしく変わる世の中、大量の情報を瞬時に入手できる社会にあって、心を開放したり穏やかな自分を見つめ直したりと、こうした時間も大切にしたいと感じました。

また、芸術や学びの秋にふさわしい取組も多数ありました。「区音楽会3年」「こころの劇場6年」に参加したり、「手話体験1年」「はまぎん出前授業5年」「留学生による出前授業3・4年」「YCV出前授業5年」「非行防止教室2年」など、教科や人権、生活につながる外部講師を招いた授業を行ったりと、お蔭様でそれぞれの学年でも様々な取組を進めることができました。保護者の皆様にもお迎えなどのご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

来年も引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。

◆水道直結給水方式について

- ・12月に工事が終了する予定です。(衛生的な水の供給、水質の安定)

◆市内統一の保護者連絡システム(家庭と学校の連絡システム)の全校導入について

- ・令和6年4月から、学校・家庭・地域をつなぐ連絡システム「すぐーる」の運用開始予定。
- ・出欠連絡、デジタル化できる連絡(たより配布、アンケート、参加承諾書、市教委からのお知らせ等)
- ・導入に向けたスケジュールは分かり次第ご連絡します。(アプリ登録等の案内等)

◆学校関係者懇話会報告;地域交流室にて(11月24日11:30-13:00)

- ・自治会や南小コミハ、キッズ、地域学校協働本部の皆様を対象に、授業参観や懇話会を開催しました。

全校遠足(たてわりにこにこ集会) 11月17日(金)

全校遠足に替えて、校内での「たてわり交流活動」を実施し、教室では「にこにこタイム」と室内レクをしました。「にこにこタイム」では、タブレット端末で動物の描き方の動画や写真を見ながらスケッチをしたり、室内レクでは、6年生が主体となり、グループでレクを楽しんだりしました。また、体育館では、友達と譲り合いながらドッジビーを行い、校内ウォークラリーでは、小グループで協力しながらキーワードを集めて、「秘密の言葉」を完成させるなど、異学年同士で積極的に声をかけ合いながら仲を深める様子がそれぞれの活動からうかがえました。

旭区児童音楽会 11月7日(火)

11月7日(火)3年生が旭区児童音楽会に出演し、「気球にのってどこまでも」「アメリカに行った花子さん」の2曲を発表しました。声の響きや強弱に気を付けたり、リコーダーでは優しい音を意識したりと、みんなで心を一つにできました。当日は緊張しながらも、練習の成果を発揮しました。

当日の朝には、保護者や2年生に向けた発表も行いました。大勢の保護者の皆様、朝早くからのご参観ありがとうございました。

こころの劇場 11月9日(木)

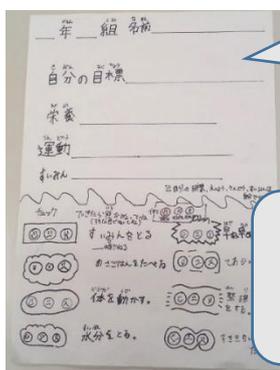
11月9日(木)に6年生は県民ホールで行われた、「劇団四季こころの劇場『ジョン万次郎の夢』」の観劇に行きました。昼前に学校を出て、秋晴れの気持ちのよい天気の中、山下公園の芝生にてお弁当を食べ、昼食後には、海を眺めたり、スケッチブックに景色を描いたり、子どもたちは思い思いの時間をゆったりと過ごしていました。観劇では、劇団四季の方の全身を使った演技の迫りに驚き、本物の素晴らしさを味わいました。

学校保健委員会 11月14日(火)『生活習慣について考えよう』

学校保健委員会とは、心身ともに健康になることを目指して、子どもが健康について自分事として捉え、実生活に生かしていくためのきっかけとする時間です。今年度は、代表児童の参加ではなく、全校児童が5校時に一緒に自分の健康について考えました。

『生活習慣について考えよう』というテーマのもと、保健委員会が「睡眠・運動・栄養」の大切さに関する劇を発表しました。「睡眠」では、夜遅くまで起きていた人は、寝不足や集中力が低下してしまうことがあるということを例に挙げ、低学年は10時間、中学年は9時間、高学年は8時間の睡眠が必要だということが分かりました。「運動」では、外で体を動かして遊ぶことが少なく、家でゲームなどをしている人は体力が低下したり、病気になりやすかったりすることを例に挙げ、一日1時間以上の運動が体に良いとされていることや、掃除などで体を動かすことも運動にあたるということが分かりました。「栄養」では、朝食を食べない人は、体や脳が起きず授業に集中できないことを例に挙げ、朝食をしっかりとるだけでなく、ブドウ糖をきちんと摂取することで脳のエネルギーとなり、午前中の集中力を保つことができるということが分かりました。また、「栄養」については、栄養士の北脇先生から、バランスのとれた食事をするためには赤（おもに体をつくるもとになる食品）、黄（おもにエネルギーのもとになる食品）、緑（おもに体の調子を整えるもとになる食品）を摂取することが大切であることを説明いただきました。

こうした劇や話を各教室で聞き、一人ひとりが健康につながる具体的な目標を、「睡眠・運動・栄養」の観点から立てました。掲げた目標を本人だけでなく、参観した保護者と共有する学級もあり、子どもたちの健康に対する意識がより高まったのではないかと思います。ワークシートの取組は1週間ですが、冬に向けて継続的に自分の健康について考えるきっかけとなることを期待しています。



自分の生活習慣の目標を書きました。下のチェックは一週間続けてみてどうだったかの振り返りになっています。

校長先生の挨拶の中で、大切にしている生活習慣を紹介してもらいました。校長先生の大切にしている生活習慣は「う〇〇〇」です。



☆「いつもありがとうございます」～教育活動支援ボランティア～

コロナ禍前の姿に教育活動が戻る中、今年5月には保護者の皆様に向けて「教育活動支援ボランティア」登録のお誘いをさせていただきました。今年度は、まち探検や全校遠足、環境整備、飼育など、数種類のボランティア募集でしたが、多くの皆様のお力をお借りすることができています。ありがとうございます。11月22日(水)には、環境ボランティアの皆様、学校の花壇整備をしていただきました。今後も春に向けて、学校の花いっぱいになる活動を進めていく予定です。「教育活動支援ボランティア」は、通年を通して募集をしています。ご興味がありましたらご連絡ください。お待ちしております。

【登録窓口】佐々木宏次、副校長

